

## 鄭和とムハンマド・チョンホ

### — 雲南の石碑のナゾ —

上田 信

立教大学文学部

#### はじめに

##### 航海の日

7月11日 中国：航海の日（航海節）2005年に施行

1405年 鄭和の第1回南海遠征の出帆の日

中国「海洋強国」のイベントが行われる。スリランカの鄭和  
スリランカ南部ゴール

2013年 国立博物館に中国政府の協力を得て中国コーナー設立。鄭和を顕彰。

#### 鄭和の父の墓碑のナゾ

鄭和：高校教科書では

鄭和の故郷 中国の雲南省昆陽（晋寧県）

晋寧「鄭和」公園：鄭和の父の墓

#### 故馬公墓誌銘

公（鄭和の父）の字は哈只（ハッジ）、姓は馬氏、代々雲南の昆陽州のひとであった。

公は体格が立派で、風采は凛々としていて威厳があり、己をまげてまでして人に迎合することはなく、人に誤りがあれば面と向かって叱責した。

その性格は善良で、貧しい人や身寄りのない者には常に保護し援助し、飽きることがなかった。そのため郷里の人々のなかで、公を長者だと称えない者はいなかった。

和は幼いときから才と志とを持ち、今の天子に仕えて姓として鄭を賜り、内官監の太監（長官）となった。

公は甲申（西暦 1345 年）に生まれ、洪武壬戌（西暦 1382 年）に死去、享年 39 歳であった。

永樂三年（1405 年）端陽（端午）の日、資善大夫礼部尚書兼左春坊大学士李至剛撰

#### 碑文のナゾ

なぜ、和の父親の本名が欠けているのか？

なぜ、死後 23 年後に立てられたのか。

なぜ礼部尚書が碑文を書いたのか？

#### 石碑の裏に刻まれた言葉

馬氏第二子太監鄭和奉命、於永樂九年十一月二十二日至於祖家墳塋、祭掃追薦、至閏十二月十二日吉日乃還記耳

## 深まるナゾ

なぜ墓参りをしたのか

1411年12月7日から1412年1月25日50日ほどのあいだ、何をしていたのか。

### 「鄭和」の名前

「和」に付された標識：和＝本名、鄭＝皇帝から下賜された姓、内官監太監＝役職名

「哈只」（ハッジ）の孫・息子

### なぞを解く手がかり

「鄭和」の第1回南海遠征は、永楽三年（1405年）六月に始まる。その直前の、同年五月に碑文が書かれる。

「鄭和」と呼ばれる以前

幼いときの名前：幼名＝三保≠1つの仮説：アラビア語で金曜日を意味するシャバーン

（馬明道『伊斯蘭教対中華文化之影響』台北：中国文化大学出版社、1982年）

### 鄭和の祖父と父のメッカ巡礼

雲南から天堂（メッカ）。雲南有路可通、一年之上可至其地。

（汪大淵『島夷志略』「天堂」の条）

## 雲南ムスリムから宦官に

### 明軍の雲南攻略

雲南にあったモンゴル政権攻略のため明朝は30万の軍隊を送り込む。明軍に捕まり去勢される。贈り物として皇帝・朱元璋の四男の朱棣（のちの永楽帝）のもとに。

### 宦官の長官へ

主人の朱棣は第2代皇帝（朱元璋の長男の長男）に睨まれ、追い詰められる。

靖難の役（1399-1402年）。「鄭」の姓を与える。

### 鄭和の南海遠征

1405年7月11日、永楽帝の命により第1次航海。旗艦（宝船）の長さ44丈（約137m）、幅18丈（約56m）。船団は62隻。総乗組員は2万7800名余り

### 鄭和艦隊の7回の航海

第1回 1405年～1407年、第2回 1407年～1409年、第3回 1409年～1411年

+++++

第4回 1413年～1415年、第5回 1417年～1419年、第6回 1421年～1422年

+++++

第7回 1432年～1434年

### 鄭和の遠征航路

第1回から第3回の目的地：カリカット。インド洋の交易の中心港

2年ほどの航海を終えて中国にもどると、風向きが変わるとすぐに出帆

第2回航海で、カリカットからの帰路、鄭和艦隊のスリランカ寄港を記念して石碑が建立された。

石碑の3つの面に刻まれた言葉。漢文・タミル語・ペルシア語の3ヶ国語で書かれた石碑。

第4回から第6回は目的地：ホルムズ。ペルシア湾岸の交易港

航海を終えて中国にもどってから、次の出帆までに2年あまりの歳月を費やす。

第4回目以降の航海はインド洋西部のイスラーム圏で行われた。多くのムスリムが参加するようになった。

### 朝貢のしくみ

朝貢の担当者、儀礼を管轄する役所は、礼部いわば（外務省+宮内庁）÷2

その長官は、 礼部尚書

### 南海遠征の目的

第1回航海の目的：1403年に南京にインド洋から来たムスリム、メッカ巡礼者が到着。

インド洋から南シナ海に船で渡れない。タイのアユタヤに足止め。

第1回航海の成果：マラッカ海峡の航行を妨げていた華人の陳祖義を逮捕

陳祖義に替わってムスリムの華人に管理させる。

マラッカ海峡の要所マラッカに遠征の基地を置く。

### 碑文はなぜ立てられたか？

鄭和を「哈只」（ハッジ）の孫・息子であることを、認定するため。

父の本名は必要がない。父は、明朝への抵抗者。

### 和の帰省

題記 第4回航海の直前

墓参り 永楽九年十一月～永楽九年閏十二月十二日。

この50日のあいだ、和は何をしていたのか。

南海の各地に雲南ムスリムの長官を置く

### 「鄭和」の遠征か？「鄭和」の遠征ではなかった

東南アジア・インド洋への遠征は、鄭和（明朝皇帝が与えた名前）のもとで行われたのではなく、「ハッジの孫・息子」である和の名前で行われたプロジェクトであった。

### なぜ石碑は建てられたのか

「鄭和」に「ハッジの孫・息子」であるという標識を回復させるために必要な手続きが、礼部による「和」の父の墓の造営と碑文の作成であった。

### 「ムスリムの鄭和」か？

航海には漢族も参加。安全を祈願するために、航海の女神・媽祖などを祀る。

宦官として、ムスリムの信仰を貫けなかった。

### 最後の航海

1431年：7回目の航海。永楽帝の死後に彼の孫の宣徳帝の命令で。1431年、分遣隊はメッカに。しかし、和はそれには加わらない。

死：1433年、和の死には、2つの説がある。航海の途上での死 or 南京に戻ってからの死

## インドネシアにおける鄭和（写真）

### ジャワ島のスマラン

スラバヤの大覚寺（三官大帝廟）

宝船

三保大人像

媽祖

行事

鄭和到着の記念日

三保の神輿

華人の祖先祭祀の場

祖先の神位牌

三保洞（San Poo Kong）

鄭和艦隊の舵取り

船舳爺

レリーフ：財宝

レリーフ：交易

レリーフ：チャンパ王女を届ける

洞窟入り口

洞窟内部

洞窟内の三保像と井戸

### ジャワ島スラバヤ

三保廟（スラバヤ）

三保大人像

伝「鄭和艦隊の船材」（約 10m）

船形の紙銭

ムハンマド鄭和

鄭和記念モスク

鄭和清真寺 Masjid Muhammad Cheng Hoo

ムスリム鄭和のレリーフ

### スマトラ島メダン

鄭和記念モスク建設の動き（メダン）

中華系ムスリムを訪ねて

マスジット中華 アル=アリ=鄭和

以 上